

広島市感染症週報

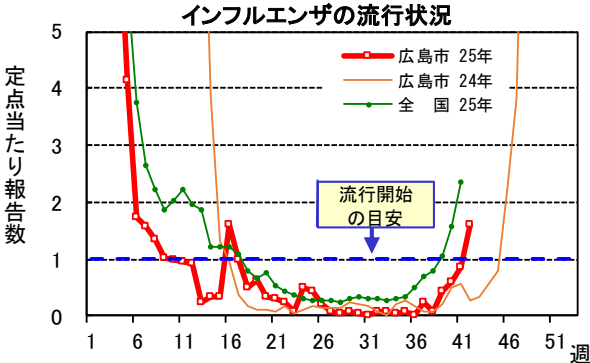
広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり1.60人と、流行開始の目安となる定点当たり1.00人を上回り、昨シーズンより4週間早く流行期に入りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第42週に3件報告されました。手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第42週 A型:13人、B型:0人



2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり6.33人の報告があり、増加しています。昨年は広島市・全国ともに過去最多の報告があり、11月中旬にピークとなりました。今年も例年より多い状況が続いており、注意が必要です。主な症状は、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などで、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 RSウイルス感染症

定点当たり1.95人の報告があり、多い状況が続いています。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1858	53.09			小児科	突発性発しん	6	0.27	0.34	
	インフルエンザ	56	1.60	2.98			ヘルパンギーナ	2	0.09	0.82	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	71	2.03				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.08	
小児科	RSウイルス感染症	43	1.95	0.11		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	10	0.45	0.29			流行性角結膜炎	16	2.00	0.65	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	1.45	1.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	73	3.32	2.42			無菌性髄膜炎	1	0.17	-	
	水痘	3	0.14	0.07			マイコプラズマ肺炎	38	6.33	1.53	
	手足口病	11	0.50	1.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	19	0.86	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	100	80歳代・2人
4	レジオネラ症	2	28	50歳代・2人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	24	70歳代
5	梅毒	2	126	20歳代、40歳代
5	百日咳	12	973	10歳未満・3人、10歳代・2人、20歳代・3人、30歳代・3人、70歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			急性呼吸器感染症 (ARI)																			
			インフルエンザ	(COVID-19) 新型コロナウイルス感染症	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第38週	1,890	3	237	27	9	43	93	2	9	27	4	6	-	-	13	-	1	14	-	-
		第39週	1,972	15	179	23	5	49	81	3	13	31	7	1	-	-	26	-	1	26	-	-
		第40週	2,138	21	147	25	5	48	102	5	10	24	6	1	2	1	21	-	-	22	-	-
		第41週	2,305	30	100	52	5	47	87	10	14	37	11	6	-	-	24	-	-	25	-	-
		第42週	1,858	56	71	43	10	32	73	3	11	19	6	2	1	-	16	-	1	38	-	-
定点当たり	広島市	第38週	54.00	0.09	6.77	1.23	0.41	1.95	4.23	0.09	0.41	1.23	0.18	0.27	-	-	1.63	-	0.17	2.33	-	-
		第39週	56.34	0.43	5.11	1.05	0.23	2.23	3.68	0.14	0.59	1.41	0.32	0.05	-	-	3.25	-	0.17	4.33	-	-
		第40週	61.09	0.60	4.20	1.14	0.23	2.18	4.64	0.23	0.45	1.09	0.27	0.05	0.09	0.13	2.63	-	-	3.67	-	-
		第41週	65.86	0.86	2.86	2.36	0.23	2.14	3.95	0.45	0.64	1.68	0.50	0.27	-	-	3.00	-	-	4.17	-	-
	全国	第42週	53.09	1.60	2.03	1.95	0.45	1.45	3.32	0.14	0.50	0.86	0.27	0.09	0.05	-	2.00	-	0.17	6.33	-	-
第40週		58.84	1.56	4.82	1.54	0.25	1.81	4.05	0.18	0.39	1.23	0.29	0.54	0.05	0.02	1.01	0.03	0.05	1.36	0.01	-	
		第41週	60.20	2.36	3.72	1.63	0.26	1.93	3.92	0.22	0.36	1.25	0.28	0.45	0.05	0.02	1.05	0.01	0.06	1.53	0.01	0.01

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス (A(H1N1)2009型)	インフルエンザウイルス (A(H3)型)	インフルエンザウイルス (B型)	RSウイルス (SARS-CoV-2)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	パラインフルエンザ ウイルス5型	ライノウイルス エンテロウイルス	アデノウイルス
第37週	18	8		1		5		1								1	
第38週	18	15				9	3					2				2	2
第39週	9	5					2					1				2	
第40週	21	15	1			5						1				10	3
第41週	18	8				1		1		2						4	1

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで

広島市 病原体

検索

【参考】インフルエンザを予防するための注意点

例年、流行が始まると急激に患者が増加しますので、以下の点に注意し感染予防に努めましょう。

特に基礎疾患(腎臓疾患、心臓疾患、呼吸器疾患等)をお持ちの方や、妊婦、高齢者、乳幼児は合併症を起したり、重症化することもありますので注意が必要です。

- ◆ 外出後は、流水・石けんによる手洗いを行う。
- ◆ 咳やくしゃみ等の症状のある時はマスクの着用など咳エチケットを心がける。

【咳エチケットとは】

- ・ 咳やくしゃみをしている人は、マスクを正しく着用する。
- ・ マスクが無い場合は、ティッシュ・ハンカチ、上着の袖などで口や鼻を覆う。
- ・ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐに蓋付のごみ箱に捨てる。

- ◆ 室内では換気をし、適度な湿度(50~60%)を保つ。
- ◆ 人混みへの不必要な外出は控え、やむを得ず人混みに出る時はマスクを着用する。
- ◆ 流行が拡大する前に、インフルエンザワクチンの接種を受ける。
- ◆ 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診する。
- ◆ 普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園を控える。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp